

令和3年度 第1回 浦安市男女共同参画推進会議 議事要旨

1. 開催日時 令和3年7月16日（金）午後6時～午後7時45分
2. 開催場所 浦安市役所10階 協働会議室
3. 出席者
（委員）
寺村会長、菅宮副会長 津矢田委員、桑委員、塩谷委員、荻野委員、亀山委員、
藤森委員、國井委員
（事務局）
企画部長、次長、多様性社会推進課長、課長補佐、主任主事
4. 議事次第
 1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 議題
 - (1) 「第3次うらやす男女共同参画プラン」の策定について
 - (2) 「男女共同参画社会づくりに関する調査」の結果について
 - (3) 男女共同参画に係る課題と「第3次うらやす男女共同参画プラン」の体系案について
 4. 事務連絡
 5. 閉会

<配布資料>

- ・資料1-1 「第3次うらやす男女共同参画プラン」の策定について
- ・資料1-2 男女共同参画を取り巻く浦安市の現状
- ・資料1-3 「第3次うらやす男女共同参画プラン策定スケジュール
- ・資料2 男女共同参画社会づくりに関するアンケート調査結果報告書【総括】
- ・資料3 「第3次うらやす男女共同参画プラン」の体系検討表

5. 議事概要

○会長あいさつ

昨年度は、主に、「パートナーシップ宣誓制度」及び、「第3次うらやす男女共同参画プラン」策定に向けた3つの基礎調査の調査票に対して議論いただいた。

本日の会議では、改めて「第3次うらやす男女共同参画プラン」の概要や策定スケジュー

ルをご理解いただきたい。

また、3調査の結果を総括して説明いただき、男女共同参画を取り巻く国や市の現状や課題から、第3次プランの方向性をご理解いただきたい。

○議題

(1)「第3次うらやす男女共同参画プラン」の策定について

資料1-1・1-2、1-3に基づき、事務局より「第3次うらやす男女共同参画プラン」の策定について説明が行われた。

(主な意見等)

特に意見なし

(2)「男女共同参画社会づくりに関する調査」の結果について

資料2に基づき、事務局より「男女共同参画社会づくりに関する調査」の結果について説明が行われた。

①市民意識調査について

(主な意見等)

委員 20 ページの市の暮らしやすさについて、暮らしやすくないとする意見が LGBT について 35%となっているが、この数値は高いのか。また、他市と比較するとどうなのか。ただし、この調査は、パートナーシップができる前のアンケート調査なので制度が出来てから多少は良くなっているかもしれない。

事務局 他市との比較はしていないが、市民の意識としては、他の属性に比べて際立って高いという報告に留まっている。

会長 LGBT の回答者は何人くらいいたのか。回答者を特定したいという意味ではなく、どれくらいの回答がいたのかが気になったので。

事務局 これは、LGBT の方が自身のこととして答えているのではなく、アンケートに回答いただいた方がそれぞれの立場について答えていただいている設問である。

委員 18 ページについて、DV 被害を相談しなかった理由について色々な意見があり考えさせられた。自分は人権擁護委員の立場でこの会議に参加しているが、活動の中で、子どもたちに相談しやすい環境づくりに力を入れ、色々な取り組みを行っているが、実際の相談の数は少ないのが実態である。「人権教室」では、「学校で何かあったら相談してほしい」と伝えているが、今回のアンケートで対象となった

親のレベルでも相談が少ないという結果だったのだから、子どもにも影響していると感じた。相談した人が少ないということであれば、人権擁護委員は何かしなければという気になるが、難しいということを感じた。

委員 先ほどのやり取りを聞いていて、私も 20 ページの市の暮らしやすさの設問について疑問を感じた。自分のことではなく、一般的な質問にして、意味があるのか。例えば、誰が LGBT なのかなど外から見て、どうやって判断しているのか。

事務局 この設問は、自身の状況には関わらず、浦安市が多様な方々にとって暮らしやすいまちなのかどうかを想定して聞く設問となっている。例えば、子育て世代にとっては優しいまちだけど、高齢者にとってはそうでもないといった回答も可能性としてはあると考えており、その結果によっては今後強化していく施策の検討材料になるという狙いがある。この設問では、いろいろな立場の方にとっての暮らしやすさを具体的に測るために項目ごとに回答していただいた。

会長 このアンケート調査結果は丁寧にまとめられていて非常に興味深い。今後この結果をどう活かしていくのが重要だと思うが、市民への結果の公表はどのように行うのかなどについて、決まっていれば教えていただきたい。

事務局 本プランを令和 4 年 3 月末までに策定するので、そのタイミングに合わせて、3 つの調査報告書と総括の報告書を 4 月頃公表する予定である。

②事業所調査・職員意識調査について

(主な意見等)

委員 41 ページの、育児・介護休業が取れない理由として、収入が減少し家計に影響するからとなっているが、市ではこれら制度を利用すると、収入が減少するのか。

事務局 育児休業給付金は、育児休業開始の 6 か月までは休業開始時の賃金の 67% が支払われて、6 か月経過後から 1 歳になる日の前日までは 50% が支払われる。また、保育所等に入れなかった場合は、休業期間を 2 歳まで延長することができ、給付金も 50% 支払われ続ける。部分休業については休業している時間分、給料が減額になる。なお、子の看護については、有給である。

事務局 介護休暇については、6 か月までは有給の特別休暇を取得できるが、長期にわたって介護をせざるを得ない場合、「介護時間」という時間単位で取得できる無給の制度がある。各種休業制度を使うとフルタイムで働いている人と比べれば、給料が減額される。

委員 38 ページについてだが、職員意識調査については、1,796 人に配布して、帰ってきたのは 895 人と半数弱しか回答していない。市の職員で回答率が低いというのはどうなのか。

事務局 回答しない理由については把握していないが、この調査結果がプランに反映するという意味で基礎的かつ重要な調査なので、今後は可能な限り回答をしやすい、回答率が上がる方法で調査を実施したいと考えている。

委員 40 ページの昇進意向について、「昇進したいと思う」が男女共にかなり減少しているのは、今の若い人の傾向としてはわかるのだが、前回と今回の調査で、問いに差異があったのか。また、前回はいつの調査なのか。

事務局 厳密にいうと、前回はどこまで昇進したいかという設問で、部長や課長など職位を聞く設問にしていたが、今回は昇進したいかしたくないかについての二択で答えるようになっている。もちろん、職位ごとに昇進したいとした回答を合計して「昇進したい」としているのだから、結果としては同じ意味になるのだが、厳密には同じ聞き方をしていない。それが影響した可能性も否定できない。なお、前回の調査は平成 27 年に行ったので、5 年ほど前の調査となる。

委員 自分の能力に不安があるからといった回答が多いので、職員の半数以上がそんな風を感じながら仕事をしているのか。昇進したくない理由としては、責任が重くなるからなどが表になっていてすごく興味深い。社会全体がこういう傾向なのか、どうなのだろうか。数字の大きな違いにびっくりしたが、理由については能力や責任が昇進したくない理由に結びつくのかと思っている。

委員 私も仕事をしていた時に、上の職位になったら給料が 5000 円くらい増えたが、その分毎日勉強しなくちゃならないといったことがあり、5000 円くらいでこんなに大変な思いをするなら、昇進しなくてもいいと感じた覚えがある。

委員 私も現役だったころ、全国に転勤を言い渡されると、子どもがいる世帯などでは学校の関係など色々なことがあったようだ。宿舎を出なきゃいけないとなると経済的にも成り立たない人もいる。優秀な職員がいても、なかなか経済的な問題から、うまくいかないこともある。単身生活で苦しい思いをするくらいなら、嫌ですと断るといった職員がいた。もっとも、浦安市の職員は、単身赴任はないので、ここまで昇進したいと思う職員の割合が減っているのは、聞き方の違いが作用したのか、若い人は偉くなんかなりたくない、気楽に生活したいといったニーズが強くなっているの

か。大手の企業でも、給料は上がらない分、全国転勤がない役職などを用意しているので、このような動きが強くなっていると感じる。

委員 女性の方が「昇進したいと思わない」の上がり方が男性より小さいので、この傾向は男性の方が強いのではないか。

会長 事業所調査、職員意識調査は細かく実施しているので、フィードバックができると良いと思う。どのような方法で予定しているのか。事業者も忙しくてホームページを見るようお願いしてもなかなか見ないと思われる。職員についてもイントラネットに貼るだけでは見る人も限られてしまう。協力してくれた先にどうフィードバックする予定なのか。

また、56 ページの目標達成状況だが、どの項目も達成していないというのは、そもそもの設定が高すぎたのか、それとも別の理由があるのか、このあたりについて何か分析はされているか。

事務局 個別のフィードバックについては、現時点では予定していないので、今後検討する。成果指標についてはまだ分析できていないので、次回の会議で、改訂第2次プランの評価や振り返りなども議題としているので、今後の会議でお示ししたい。

③アンケート総括について

(主な意見等)

委員 去年の段階でハラスメントの有無については事業所にアンケートを送っても、答える人の考えで回答してしまうのではと意見したが、結果を見るとその通りになっていると感じた。小さい企業ほど、正確に回答しているかはわからないし、大きい企業だと色々な担当部署に人がいるので、ハラスメントについて回答してくれるかもしれない。どこがどう答えたかというより、これがアンケートの限界かなと感じる。

(3) 男女共同参画に係る課題と「第3次うらやす男女共同参画プラン」の体系案について資料3に基づいて、事務局により、男女共同参画に係る課題と「第3次うらやす男女共同参画プラン」の体系案について説明。

(主な意見等)

特に意見なし。

○事務連絡

事務局 現在の委員の皆様の任期は9月末であるが、第3次プランを令和4年3月末までに

策定するので、委員の任期を令和4年3月31日まで延期させてほしい。多様性社会推進課に意向をいただきたい。

次回の会議は10月の中旬を予定している。委員の任期延長についてのご承諾が前提になるが、日程については改めて文書でお知らせする。